

ニュースクリップ
News Clip
あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 県連総会結果
- P4 青年部だより
- P5 女性部だより
- P6 いいものmekke
やまさ味噌こうじ店(矢吹町)
ほんものへのこだわり
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

地域資源の新たな活用に取り組む会津桐炭(株)・佐久間源一郎さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

会津桐炭で循環型のビジネス展開を図る。
三島町・会津桐炭株式会社

2012.7.10
Vol.357





会津桐炭で循環型のビジネス展開を図る。

地域資源の新たな活用に取り組む会津桐炭(株)・佐久間源一郎さんにお伺いしました。

●事業紹介

平成二十三年十二月、三島町に会津桐炭株式会社が発立されました。当地の特産品である桐や山林に関係する有志が集まり、共同出資してできた会社です。地域資源を活用した桐炭の製造販売で新たな地域活性化を目指しています。

●会社設立の経緯

三島町は「会津桐」の中心的産地として知られ、重要な地場産業として発展してきました。これまでにも、桐の植栽事業や公設民営によるタンスの生産販売に乗り出すなど、町を挙げて「桐の里」づくりを展開してきました。しかし、近年では生産者の高齢化、外国産材の普及によって国産桐の需要が低迷し、厳しい状況にあります。新たな事業展開として着目したのが、桐の生産過程で出る間伐材やタンスの構造材として使用できない部材を炭化加工して有効活用するというものでした。

平成二十二年二月、商工会を中心に地元民間企業や町が一体となって炭化プロジェクト委員会を立ち上げました。この委員会のメンバーを中心に地域力活用新事業の全国展開プロジェクト

に着手、二年間にわたる試作・調査・研究を経て製品化にこぎつけ、このほど新会社を設立したわけです。

●キポイント

当初は私自身、炭化加工については半信半疑でした。プロジェクト委員会も事業の成否の見通しが立たない段階では議論がまとまらないこともありました。

しかし、研究機関の協力で試作と研究を重ねた結果、桐炭は大きな可能性を秘めた素材だと判明したのです。さらに展示会・商談会に試作品を持参したところ、メーカーなどから大きな反響があり、初めて事業成果に手ごたえを感じました。町として取り組んできた下地があつたとはいえ、建設業、建築業、製造業、林業、生産者など当事者意識の高い関係者が結集したこと、商工会が事業の枠組みを提供して中心的な役割を担った結果だと思っています。当社は、三島町商工会の事業展開から生まれたと言っても過言ではありません。

●商品の特徴

桐炭を特殊炭化加工機で炭化すると、高純度・高機能の桐炭になります。この桐炭はミネラル

を多く含むほか、活性炭にも匹敵する多孔質性を持つため油やガスの吸着性に優れた効果を発揮します。また、無酸素・滅菌状態で加工され、発がん性物質も検出されていないことから食用としての利用が可能です。

このような桐炭の特性を生かして、現在「パウシリーズ」として三つの製品を提供しています。体内の消臭・不純物を吸着するサプリメント「パウコール」、飲用水の浄化・消臭剤「パウピュア」、食を楽しくする食品添加用の「パウミクロン」です。これらは消費者が求める食品への安心安全に対応できる商品です。

●企業活動の先にあるもの

三島町は中山間地域であり、山林から多くの恵みを受けてきました。地域が活力を取り戻すためには、まず山林を活性化させなければならぬという思いがあります。「植える」「育てる」「伐る」「造る」の循環システムの中で、当社は山の恵みを製品化するとともに、廃棄物を高度に純化して山に返し、再生産につなげていく役割を担いたいと考えています。このような山林を舞台とした循環型の事業モデルを作り上げることが将来的な構想です。

●今後の事業展開

まずは、ホームセンターなどへ営業を展開し、安定した生産・販売体制を築くのが当面の課題です。さらには、桐炭の持つ消臭効果、吸着機能などは他の分野への応用も可能です。健康食品に加え、調湿材・消臭材などの建材、石けん等の美容製品など様々な企業と提携し、外部の知見を生かした新商品開発や市場開拓にあたることも考えています。また、桐炭の多孔質性はヨウ素やセシウムなど放射性物質の吸着に効果があることが実験の結果明らかになりました。現在、除染への活用を含めて今後の事業展開を検討しています。



企業概要

企業名 会津桐炭株式会社
 代表者名 代表取締役 佐久間源一郎
 住所 〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字下上/原358
 TEL/FAX 0241-42-7802



「第52回通常総会」

去る5月25日、コラッセふくしま多目的ホールにおいて第52回福島県商工会連合会通常総会を開催した。

総会では、席上、商工貯蓄共済並びに優良商工会の表彰を行い、続いて来賓の佐藤知事が祝辞を述べた。

議事では、県の産品・加工食品放射能検査支援などを盛り込んだ平成24年度の事業計画などを決定し、任期満了に伴う役員改選では、四期務めた田子正太郎会長（三和町）他10名の役員が退任し、新会長に轡田倉治会長（岩瀬）をはじめとする新役員が選任された。

平成24年度 事業計画重点事項

東日本大震災・原発事故の被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施

- ① 原子力損害賠償の完全実施への支援
- ② 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業の再生・再建への支援
- ③ 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施
- ④ 被災商工会等の復興計画（ビジョン）策定支援

原発事故による風評被害払拭に向けた取り組み

- ① ふくしま「食」イメージアップ戦略事業（復興イベント）
- ② ふくしまの産品販売支援事業（復興イベント）
- ③ 福島県の産品・加工食品放射能検査支援

中小企業者の復興への支援強化

- ① 中小企業支援ネットワーク強化事業による企業支援
- ② 福島県中小企業者復興支援事業（復興支援員の設置）
- ③ 中小企業の起業・創業支援セミナー
- ④ IT・クラウドを活用した中小企業経営基盤強化
- ⑤ 戦略的提案型の巡回訪問強化による企業支援

商工会の組織基盤の強化及び徹底した会員サービスの充実強化

- ① 商工会の組織基盤の強化
- ② 商工会職員の資質向上対策の推進
- ③ 会員サービスの充実強化

商工会地域振興事業による地域再生

- ① 商工会地域貢献アピールプラン策定と積極的アピール
- ② 地域生活者支援システム構築の支援
- ③ 地域資源を活用したコミュニティビジネス創成支援
- ④ 商工会等地域復興支援事業

商工貯蓄共済表彰

（目標達成商工会）

片平町、日和田町、中田町、小野町、常葉町、表郷、棚倉町、只見町、湯川村、柳津町、金山町、葛尾村

平成23年度実施事業 優良商工会等表彰

（事業功績）商工会事業

① 経営革新計画策定支援

川俣町商工会 経営指導員 目黒正則
 玉川村商工会 経営指導員 藤田達夫
 小高商工会 経営指導員 豊沼寿幸

② 新事業全国展開支援事業

三島町商工会

平成23年度資格取得商工会職員

（職員資質向上）

中小企業診断士取得

貝沼久範 会津広域指導センター

新役員

会長	轡田 倉治(岩瀬)	
副会長	田中清一郎(双葉町)	金澤 寛二(棚倉町)
	渡部 文一(南会津町)	渡邊 武(伊達市)
専務理事	猪狩 正明(四倉町)	
	阿久津文作	
理事	安斎 道弘(飯坂町)	三浦 勝男(あだたら)
	小沼 貞彦(本宮市)	渋谷 重二(富久山町)
理事	矢内 清一(石川町)	吉田 美政(船引町)
	緑川 武(表郷)	一ノ瀬正一(猪苗代町)
理事	原 幸二(会津坂下町)	樋 正人(柳津町)
	澤田 一夫(鹿島)	佐藤 一美(内郷)
監事	山川 憲彦(県連会長)	服部 淳子(県連会長)
	山口 勇(安積町)	渡部 満雄(湯川村)

復興に向けて再スタート — 県青連第45回通常総会の開催 —



あいさつをする山川県青連会長

福島県商工会青年部連合会の第45回通常総会が5月9日(水)、福島県知事をはじめ多くのご来賓を仰ぎ、県下青年部員176名参加のもと、福島市「福島ビューホテル」にて開催されました。山川憲彦会長の挨拶後、入谷康之部長(会津坂下町)を議長に指名し、議案審議に入り第1号議案から第5号議案まで原案通り可決しました。平成24年度の事業計画では、復興支援事業として、10月に開催される「日本のまつり事業」及び、復興イベント事業等を行う青年部を支援する「県青連復興助成金事業」を掲げ、青年部一丸となって復興に向けて推進していくことを採決しました。



最優秀賞に押田洋平さん(矢祭町) — 青年部トップセミナーの開催 —



最優秀賞の押田さん(矢祭町)

通常総会にあわせ、同日、平成24年度商工会青年部トップセミナーが開催されました。

県内6ブロックの代表者がテーマに基づき、青年部活動において常日頃抱いている思いについて発表する主張発表大会福島県大会と、「東日本大震災からの復興」をテーマに衆議院議員の小泉進次郎氏の講演会が実施され、会場は熱気に包まれました。

主張発表大会では、審査の結果「青年部活動と地域振興・まちづくり～つつじに込めた想い～復興への願い」と題し発表した、県南地区代表の押田洋平さん(矢祭町)が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝き、10月17日に岩手県において開催される平成24年度東北6県・北海道ブロック主張発表大会へ福島県代表として出場されます。

小泉進次郎氏の講演会では、政治の視点から、本県の復興について貴重なご講話を頂きました。講演後の質疑応答では、本県の現状や要望等、多くの青年部員から声が上がりました。小泉氏は、誠実に回答した上で、今後も継続的に県内に足を運び、青年部員と意見交換の場を設けることを約束してくださいました。



講演者の小泉氏



第45回通常総会・女性部トップセミナーの開催 — 福島県商工会女性部連合会 —

5月10～11日、いわき市「小名浜オーシャンホテル」において第45回通常総会が開催されました。服部淳子会長があいさつ後、神尾つや子部長(天栄村)が議長となり第1号議案から第3号議案までを原案どおり可決いたしました。

今年度は、「復興元年」と位置づけ、震災復興支援事業(日本のまつり・モニターツアーや各地区での復興事業他)を実施するなど、女性部の特性を生かした事業を積極的に推進することを採決しました。

通常総会にあわせ、同日には女性部トップセミナーが開催されました。県内6ブロックの代表者による商工会女性部主張発表福島県大会が行われ「女性部活動と地域振興・まちづくり」～ポールからうまれる笑顔と輪、そして新たな出発～というテーマで発表した県北地区代表 伊達市商工会女性部 部長の齋藤光子さんが最優秀賞(県知事賞)に選ばれ7月11日、青森県で開催される東北・北海道ブロック大会への出場を決めました。

翌、11日は(有)ツマガリ 代表取締役社長 津曲孝氏より「前向きな心にか 良いアイデアは生まれない」と題して、同じ事業経営者として震災(阪神淡路大震災)を体験した経験を踏まえ、貴重な講和をいただきました。



福島県女性連 服部淳子会長



県内6ブロックの代表者



トップセミナー(講演会)の様子

第46回通常総会・都道府県女性連会長研修会の開催 — 全国商工会女性部連合会 —



全女性連 末武栄子会長

5月15～16日、福島市「コラッセふくしま(通常総会)」と飯坂町「吉川屋(会長研修会)」において全国商工会女性部連合会「以下 全女性連」の通常総会及び会長研修会が開催されました。

例年、東京都(全国連)の開催であります。平成24年度は、全女性連から被災地の復興支援という目的から福島県で開催され、全国47都道府県連の会長さんらが出席し通常総会が執り行なわれました。

また、夜の全体交流会では、全国から福島に再度来ていただけるよう、^{あいりんかく}會凛鶴(グループ名)による「会津磐梯山」や「白虎隊」の演舞を披露し、福島県内の観光PRもさせていただきました。

翌日16日には、会長研修会が開催され「女性部活動活性化の方策等について」と題したグループディスカッションが行われました。





東日本大震災 復興応援プロジェクト版

福島県の風評被害撲滅と
福島県のブランド力向上のために
安全・安心で美味しい商品を全国に
発信しているお店を紹介します。

福島というブランド

二〇一一年三月十一日『福島県ブランド認証』の授賞式のため、
福島県庁に行っていました。

しかし、認証式を終えての帰宅途中体験したことのない
激しい揺れに襲われました。

そしてその後、福島県を取り巻く環境は一変してしまいました。

幸い当店は、地震の影響も風評被害の影響もさほどありませんでしたが、

私たちの先人が守ってこられた恵まれた風土、それを最大限に

生かす築きあげてきた**福島県のブランド力**というものが

西白河郡矢吹町 やまさ味噌こうじ店

ほんものへのこだわり



中町店(本店) / 福島県西白河郡矢吹町中町401
TEL・FAX 0248-42-3359
【営業時間】午前8時30分～午後7時
【定休日】火曜日

八幡町店 / 福島県西白河郡矢吹町八幡町535-4
TEL・FAX 0248-42-2900
【営業時間】午前10時～午後6時
【定休日】月曜日

お知らせ 今秋に現在の八幡町店向かいに
新店舗をオープン予定です。



失われていく気がしてやりきれない思いでした。
震災後、県産品の良さを知っていただくため
首都圏で行われる物産展等に積極的に参加しました。

お客様に安心して頂くため、公的機関にて定期的に放射能検査を

実施（検出されたことは一切ありません）して、証明書を商品に付けました。

買ってくれたお客様からは『福島県応援してよ・頑張つてね』と

温かいお言葉をいただきました。

福島県の風評被害撲滅に役に立っているのかはわかりませんが、

福島県のブランド力向上のためにこれからも安全・安心で

美味しい商品を全国に発信していきたいと思えます。

『福島県ブランド認証』とは

福島県の多彩な風土の中で育まれた豊富な県産品の中から、福島県の誇りともいべき選りすぐりの産品を選定・認証し、福島県のトップランナーとして、全国・世界に向けた戦略的な売り込みを行い、県産品の知名度向上、競争力の強化を図り、福島県経済の活性化を目指すために創設した制度です。この福島県ブランド認証産品に当店の『**こうじの恵み**』が選出されたのです。



『こうじの恵み』に秘めた想い

当店には代々味噌醸造において大事にしていることがあります。

『いい糀がいい味噌をつくる』

最近、塩糀ブーム等で糀に注目が集まっていますが、良質な糀が美味しい味噌醸造にはかせません。

『**こうじの恵み**』は、丹念に作った米こうじを他社の製品よりかなり多く配合しており、その旨みや香りを最大限に引き出すため、粒を残しながら天然醸造させる独自の伝統技術にこだわっています。そのため、例えば味噌汁にした際には米こうじの粒がふわっと表面に浮き上がり米どころ福島の情景を思い浮かべられるような商品となっております。また、原料にもこだわり、大豆は青森県産おおすすめ一等大粒大豆、塩は五島灘の自然塩など、すべて国内最上級品のものを使用しております。

当店には『**こうじの恵み**』の他、こだわり糀で作った『**あゆりの味噌**』『**塩糀**』『**三五八**』『**甘酒**』『**もろみ**』等があります。

どの商品も素材、製法にこだわった自信の逸品となっております。特に『**塩糀**』と『**甘酒**』は是非とも味わっていただきたい他にはない商品に仕上がっております。ぜひ一度、ご来店のうえ、自分好みの『**糀**』商品を探してみませんか。



福島県ブランド認証産品授与式

取扱商品	
● とうじの恵み 1パック	¥780
● 塩糀 1ビン	¥500
● あゆりの味噌 1K(量り売り)	¥680
● とうじ 1升	¥600
● 三五八 1袋	¥300
● もろみ 1ビン	¥300
● 甘酒 1本	¥500
その他、こだわりの商品、仕込味噌、糀加工も取り扱っております。 店舗に来れないお客様、ご贈答にしたいお客様には地方発送も承っております。	

広域指導センターだより

ズムアツツ。



県内4地域の広域指導センターから、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北



福島県商工会連合会

「川俣町の復興のために」



えん屋

代表 池田 義寛氏

〒960-1421
伊達郡川俣町鉄砲町27
TEL 024-573-2788
営業時間/11:30~13:30
17:00~22:00
定休日/日曜日 ※予約あれば営業



平成23年3月11日の東日本大震災により、池田義寛さんがテナントとして営業していたファンズ川俣店の店舗が全壊しました。

池田さんは早期の営業再開を望んでいましたが、店舗の取り壊し、建て替えとなるとかなりの時間が必要なため、止むを得ず他の空き店舗を活用して営業を再開することに決めました。

そして池田さんの店を訪れ、町の空き店舗補助金(川俣町空き店舗活用事業補助金)、県の空き店舗補助金(中小企業等復旧・復興支

援事業補助金)を紹介し、申請の手続きを支援しました。月の家賃が半分以下になる予定なので、少しでも負担を減らすことができればと考えております。

ただ、池田さんは商工会に支援を求めるだけでなく、自らも川俣町の復興のために行動する方です。川俣町の復興を全国にPRするために「焼きシャモスープ丼」という復興丼を完成させました。これが福島県代表の復興丼に選ばれ、平成23年11月26日、27日新潟市で開催された全国丼サミットに出場し、元気な川俣町を全国に発信しました。今年(愛媛県)も出場します!!

池田さんは人望も厚いため、現在、青年部長のみならず町の各種団体の役員等も引き受けていただいています。私は川俣町に異動して指導員になったため、逆に池田さんに教えていただくことも多々あります。これからもよろしくお願いします。



県中・県南



中通り広域指導センター

「将来を見据えた 独自商品の開発」



株式会社櫻家(酒の櫻家)

代表 渡辺 英征氏

〒963-0922
郡山市西田町三丁目字桜内213
TEL 024-972-2121
FAX 024-972-2128
URL <http://www.bihyou.com/>

弊社は昭和40年に創業して以来、「佳い人に良い酒」をモットーに、地酒「雪小町」をはじめ、氷の酒「美氷」等を中心に、厳選した県内外のお酒を取り扱っております。



酒粕貽2種類

アルコール消費の低迷と市場規模が縮小傾向にある中、新事業に着手することになり、県連及び地元商工会指導員による複数回の支援により、福島県経営革新計画の承認を得ることができました。

その新商品が当社独自の酒粕を配合した「酒粕キャンディー」です。現在では、既存の日本酒ギフトに加え、新商品を組み合わせた新セットの販売など、商品としてのシェアが格段に広がりました。今後は酒粕を使ったジェラートなども考えております。

今回の新商品の開発の過程の中で、既存事業の経営課題が浮き彫りになったと同時に、

新事業について行動すべき内容や目標を明確にする事ができました。また、パッケージ等については専門家のアドバイスにより、将来的な事業展開を視野に入れた統一デザインを提案して頂き、大変参考になりました。

今後も、3K(個人・家族・会社)を、常にバランス(調和)の取れた感覚で経営を行って参りたいと思います。



会津

会津広域指導センター

「地産地消の店を目指して ゼロからの出発」



むらびと

小川 美加子氏

〒969-2701
耶麻郡北塩原村松原字湯平山1171-19
TEL 0241-32-3072

■震災直後の開店

平成17年から裏磐梯の観光施設のテナントとして飲食店営業をしてきました。その後、かつてドライブインだった松原湖畔の空店舗を取得。全面改装をして平成23年4月の開店を予定していたのです。そこへ東日本大震災と原発事故が発生。この影響で、県内有数の観光地・裏磐梯にもお客様の姿が消えてしまい、最悪のタイミングで開店を迎えました。

■広域連携のコンサルティング

そのような時、北塩原村商工会の須藤仁一指導員(当時)から今後の経営指針について広域連携のチームで検討して提案したいと申し出を受けたのです。これからどのように商売を続けていったらよいか途方に暮れていた私にとって、大変ありがたいお話でした。

商工会の皆さんからは「地産地消」をテーマに、店舗の機能やメニューづくり、品揃えについて提案をいただきました。さらには専門家の佐川陽先生からも看板作製や店内レイアウトでアドバイスを受けました。おかげさまで私が考えていたことが具体的に整理され、目指す店づく

りの実現に向けて少しずつ前進しています。



■地産地消の店づくり

私はこの店を地元の人や観光客が気軽に立ち寄れる店にしたいと思っています。「山塩ラーメン」や「山塩あわまんじゅう」をはじめとする山塩商品、裏磐梯の高原野菜はもちろんのこと会津各地から採れた蜂蜜や選りすぐりの商品を取り揃え、北塩原村や会津の魅力を発信したいとも考えています。ぜひ皆様のご来店をお待ちしております。



浜通り

浜通り広域指導センター

「復興にむけ前進!!」



有限会社 福相食品工業

代表取締役 末永 昭義氏

事業所 〒979-2123
南相馬市小高区大町2丁目59番地
工場 〒975-0024
南相馬市原町区下北高平字堂下237-5
TEL 0244-26-8393
FAX 0244-26-8471

■会社概要

当社はハムやソーセージ等の食肉加工製品を製造する「ハム会社」として、1971年(昭和46年)に創業し、徐々に事業拡大を図り食肉処理業・惣菜製造業及び食肉販売業・食肉加工製品の製造、卸、販売に加えて、委託製造・特別注文製品製造・水産加工品・レシピ制作なども手掛けており、インターネットを活用した通信販売事業や、海外、都内百貨店等で販売を行う物産展事業に加え当社工場での直売所事業を行っております。



直販所事業では工場内に「ハム・ソー館」をオープンさせ、食肉、食肉加工品の他に地元の野菜等も販売をしています。

当社の主な取引先は(株)マルハ大都魚類を拠点とする東北、関東、関西の各卸売市場や高速道路売店、セブン&アイ(株)ヨークベニマル、(株)JAそうま等があります。

また、委託製造事業の取引先は(株)食肉流通センターや仙台の牛タンを扱う企業等の他に障害者関連施設等や農業法人等からの委託があります。

■当社の高い加工技術を活用した事業展開へ

平成19年～22年には都内百貨店内、財団法人福島県観光物産交流協会アンテナショップ「ふくしま市場」において福島物産品販売数量実績NO.1を獲得し、平成21年度には福島県産米粉入り食肉加工製品、地元産ブロッコリーを利用した食肉加工製品、会津地鶏レトルト加工製品、飯館牛乾燥食肉製品、大熊町熊川漁協組合との鮭加工品、富岡町合鴨加工製品、豆腐ウィンナーなどの「農商工連携事業」「六次化産業開発事業」等の様々なプロジェクトにも着手しております。

■今後の展望

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故により当社小高工場が避難の為に使用不能状態になりました。現在は仮設の工場で営業を再開し県内の販路や委託製造に切り替え大量生産から小ロット生産にシフトしております。

生産量は以前の5分の1程度ですが、当社は特殊技術を有するために現在、受注が増加傾向にあります。今後は工場を復興し、風評に負けない商品作りをして参ります。

Information

商工会だより

地域の再生に向けて



五月十四日開催の第五十一回通常総会におきまして、新しく大玉村商工会長に就任しました齋藤泉です。

当地域は安達太良山の麓に位置し、平坦で大変豊かな農村地帯であり、国道四号を基軸に交通条件など、とても恵まれた土地柄です。さらに良質で豊富な水にも恵まれ、米、野菜等、豊かな農産物も自慢の地域で四号沿線に設置された村営の農産物直売所はいつも大盛況でした。

しかし、昨年の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により、この状況も一変しました。建物及びフライラインの被害で当初は混乱しましたが、それでも一年が過ぎる頃にはおおよそ復旧しました。また、原発事故による放射能汚染の程度は低かったものの、盛況

だった農産物直売所への野菜等の出荷は停止され、自慢の大玉村の米も作付けはされたものの、風評被害による販売への不安は拭拭されないままです。

このような情勢の中、当商工会は「おたまたまげたシリーズ」として、弁当・肥料・舞茸・芝生化・豆菓子等、様々な事業を展開してきま



したが、一年以上が経過した現在でも、肥料以外復活の見通しはまったく見えません。今年も復興元年と言われております。大玉村商工会は除染事業にも積極的に参加し、地域再生、そして会員皆様と共に、新たな未来に向かって頑張っていきたいと思います。

おたまたまげたシリーズ
(肥料・豆菓子・きな粉・芝生・弁当)

「おたまたまげた」とはご承知のように「驚く」という意味で、「おたまたま」とアレンジして、「シリーズキャラクター」おたまたまが誕生しました。肥料は地域内事業所の生ゴミをリサイクルしたもので、ゴミ減量と地域資源循環型社会形成に役立つっており、平成十九年度には「食品リサイクル推進環境大臣賞奨励賞」を受賞しました。地元産大豆を加工した豆菓子・きな粉も昨年の風評被害の中での販売開始でありましたが、本物志向のお客様を中心に販路拡大を目指しています。

また、芝生・弁当についても必ず復活させて、シリーズの更なる充実と地域産業活性化を牽引したいと思えます。



シリーズ以外にも、地元産大豆と米を使った「百笑味噌」開発販売や、早くからエコキャップ回収事業に取り組むなど、地域に根ざした事業を展開しています。

おたまたま夏まつり



今年で十二回目となる「おたまたま夏まつり」は二十七回目の商工まつりと併せては八月五日に開催されますが、会場となる「ふれあい広場」は国道四号線沿いに位置し、更に平坦な水田地帯の中でもあり、最後に行われる花火大会の頃には

隣のPLANT5の駐車場も溢れるくらい多くの来場者で賑わいます。昨年は愛知県から復興を祈る「たんころりん」が届き、村内に仮設住宅を有する富岡町の「麓山の火祭り」も披露され多くの皆さんとともに復興を祈りました。

また、前日の土曜日には青年部が夏まつり前夜祭生ビールまつりを開催し、暑い夏の夜を美味しく

い生ビールで楽しんでいきます。

プレミアム付き商品券発行事業

大玉村商業振興協同組合が平成六年に設立され、翌年には村商工業活性化を図るため村当局及び商工会の支援のもと共通商品券発行事業に着手。当時は利用可能事業所百四十一件でのスタートでした。

同年、さくらカード発行も開始され、平成十一年にプレミアム付き共通商品券の発行が開始され、翌年には全世帯へマイバックを配布し、翌年にはスクール券(教育助成金)を新設するなど、組合員の研修を図りつつ消費者へのサービス向上と地域商工業振興発展を目指して事業を展開してきました。景気低迷が続く近年も地元消費拡大を目指してプレミアム付き商品券事業を行政からの支援により継続しており、更に「母の日、父の日、プレゼント」「土用丑の日」「なご交換会」「おたまたま肥料交換会」「酵母牛乳交換会」など「行列ができる!」イベントを手掛けていますが、今後も消費者の皆様の要望に迅速に対応していきたいと考えています。

24年度 年間イベントカレンダー (予定表)

月	イベント
4	「第1回おたまたま祭り」開催(会場: 大玉村公民館)
5	「おたまたま夏まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
6	「おたまたま秋まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
7	「おたまたま冬まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
8	「おたまたま春まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
9	「おたまたま夏まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
10	「おたまたま秋まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
11	「おたまたま冬まつり」開催(会場: 大玉村公民館)
12	「おたまたま春まつり」開催(会場: 大玉村公民館)

おたまたま祭り・おたまたま夏まつり・おたまたま秋まつり・おたまたま冬まつり・おたまたま春まつり
エコバック持参(持参)で「おたまたま」がもらえる
毎月1と5の日に「おたまたま」がもらえる

Information

商工会だより

みんなを美人に見て・食べて・ゆったりつかり そして笑顔に 磐梯熱海温泉 熱海町商工会



熱海町商工会長の
上野忠雄です。人口三
十二万人余の郡山市
の奥座敷でもある磐
梯熱海温泉は、福島県
のまん中に位置します。国道四十九号線
と磐越自動車道「磐梯熱海IC」が走
り、磐越西線「磐梯熱海駅」もあるとい
う、交通の便が良い温泉観光地です。

美人効能・歴史

磐梯熱海温泉は昔から美人をつくる
名湯として知られ、その名も「磐
越三大美人湯」と称されて、その効能が
広く知られております。

そしてロマンあふれる美女伝説があ
ります。南北朝時代、京の都の公家の娘
で、不治の病におかされた「萩姫」が、夢
枕に立った不動明王から、
都の東北へ行き五百本目
の川岸に霊泉があるとの
お告げを受けました。「萩
姫」主従があらゆる困難
を乗り越え、京の賀茂川
から数えて丁度五百本目
にたどり着いたのが「五百
川」で、川岸の霊泉こそが
当温泉でした。「萩姫」は
湯治で全快したと今に言
い伝えられております。



萩姫キャラクター

当温泉の開湯と地名の由来は、「萩姫」
伝説から更に古く、今から遡ること八百
年前の鎌倉時代。奥州藤原氏と鎌倉幕
府の覇権を賭けた一連の戦い「奥州合
戦」の後、当地の領主になった源頼朝の
家臣・伊東祐長が、出身地・伊豆の熱海
温泉を懐かしく思い、この温泉地に故郷
の地名を冠したと言われているとされて
おります。

お散歩コース

温泉に来たら、まずは温泉情緒にひた
るため、散歩はいかがでしょうか。例え
ばこんな散歩です。

温泉街南側の郡山寄りにある「丸守発
電所」を見学します。水は猪苗代から引
いていますが、発電所脇を伝説の「五百
川」が流れており、マイナスイオンあふ
れる清浄な空気を味わってください。設
置が大正年間という歴史のある水力発
電所です。

旧四十九号線沿い南側の温泉街に入
ると、そこには樹齢三百年以上といわれ



丸守発電所

るケヤキの巨木が林立する森がありま
す。ケヤキの大木一本一本が全て異なる
形で、自然の見事な造形美に圧倒されま
す。森林浴をしながらゆつくりと散歩を
楽しみましょう。

森から下ってきたら、道路沿いにある
足湯に浸かり、
しばし疲れを
癒します。車で
お出での方は
更に足を延ば
し、温泉の北東
に位置し日本
三大金山とし
て有名な高玉
金山へ。「高玉



足湯



高玉金山

金山は四百年
の歴史があり、
最盛期には日本
一の金山として
栄えました。ト
ロッコ列車で昼
でも暗い坑道に
入ると、埋もれ
た歴史の興亡の
厚みを暗闇の中
に垣間見るよう
な、そんな不思
議な感覚が味わ
えます。

最後に宣伝

お待ちかねの食ですが、各旅館には工
夫を凝らした料理がありますし、散策
すると、蕎麦・ラーメン・とんかつ・寿
司等、和洋中の食事と、大福をはじめと
する和菓子等、色んな味に出会えます。

今のままで十分という方も、その美貌
により磨きをかけるために、それなりだ
という方も諦めずに、更なる美の高みを
目指し、どうぞ当温泉にお出でくださ
い。お待ちしております。

お問合せ先

宿泊先から、散歩コースや食事そして
美人になる相談まで、当温泉に関するこ
となら商工会にお問合せください。
熱海町商工会

郡山市熱海町熱海一―
電話 024-9884-2341
FAX 024-9884-4909

商工会会員の皆様へ



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動

商工会の業務災害保険

(一般傷害保険)

最近…



ケガやメンタルに対する

労災の賠償責任が高額になっています。



商工会の業務災害保険は

高額な賠償責任も
しっかり補償!

派遣社員や
構内下請業者も
補償の対象に!

通勤途中を含む
業務上の事故による
死亡・後遺障害を補償!

さらに… 建設業の場合、「経営事項審査制度」の加点ポイントに!

今なら、最大約
46%
割引^(*)

(*)1) 団体割引、過去の損害率による割引および従業員一括割引^(**)適用

(**)2) 換算被保険者数5名以上19名以下の場合5%、換算被保険者数20名以上の場合10%

[1-30%(団体割引)]×[1-15%(過去の損害率による割引)]×[1-10%(従業員一括割引)]≒0.54→最大約46%割引

本広告は、全国商工会連合会を契約者とする商工会会員向け一般傷害保険団体契約の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。また、ご加入については各商工会によって異なりますので、詳しくは各商工会までお問い合わせください。

商工会名

お問い合わせ先
取扱代理店／引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社 (福島支社)
〒960-8041 福島市大町7-3 福島センタービル4F
TEL 024-523-1161

11-T-09435 2012年1月作成

